

文化経済学

第15巻第2号（通算第45号）

2018年9月

会長講演 創造経済

八木 匡 (1)

論文

ラスキンの価値論における性質と力について

—Intrinsic Value をめぐるラスキンとムーアの相違—

橋高 彰斗 (7)

研究ノート

アーティスティック・スポーツプロダクトから文化芸術市場への

〈ジャンル間転送〉現象の考察

—フィギュアスケート鑑賞者の消費行動分析を主軸として—

町田 樹 (20)

芸術家と地域社会の共創に関する研究

—日本、韓国、メキシコにおける支援型プロジェクトの事例から—

谷口 文保 (32)

文化の経済的価値評価について

—九州国立博物館CVM調査結果をめぐって—

田端 幸朋 (42)

書評

太下義之著『アーツカウンシル—アームズ・レングスの現実を超えて』

水曜社、2017年

伊藤 裕夫 (56)

藤野一夫、秋野有紀、マティアス・テーオドア・フォークト編

『地域主権の国 ドイツの文化政策—人格の自由な発展と地方創生のために』

美学出版、2017年

小林 真理 (61)

小林真理編『文化政策の現在 [全3巻]』東京大学出版会、2018年

吉田 隆之 (63)

大会報告

文化経済学会〈日本〉2018年度研究大会

「文化経済学の新たな潮流」報告

友岡 邦之 (68)